

3.	交付先の特例民法法人の名称	公益社団法人日本動物用医薬品協会	
4.	交付実績額		千円 (A)
5.	補助金等における管理費		
	(1) 人件費		3,169 千円
	(2) 一般管理費		千円
	(3) その他の管理費		
	合 計		3,169 千円
6.	外部への支出		
	(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
	支 出 内 容	支 出 先	金 額
			0 千円
	合 計		0 千円 (B)
	(2) (1)以外の支出		
	支 出 内 容	支 出 先	金 額
	委員謝金	委員	200 千円
	委員旅費	委員	264 千円
	会場借料	会場使用先	44 千円
	法人監査旅費	職員旅費	103 千円
	報告書印刷費	印刷会社	271 千円
	原案作成費	IT会社	0 千円
	ソフトウェア作成費	ソフトウェア作成会社	540 千円
	翻訳料	翻訳・通訳会社	286 千円
	通訳料	翻訳・通訳会社	3,821 千円
	通訳の器材費	翻訳・通訳会社	574 千円
	文献購入費	書籍会社	29 千円
	通信運搬費	電話会社等	35 千円
	消耗品費	文房具店等	210 千円
	振込手数料	銀行等	20 千円
	未払消費税	税務署	75 千円
	合 計		6,472 千円
7.	その他		
	内 容		金 額
			千円
			千円
			千円
	合 計		千円
8.	再補助等の割合		0% (B/A)

平成28年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	食品の安全・消費者の信頼確保対策事業費補助金等
2. 事業の目的及び内容	
(1) 目的	<p>○食品の安全・消費者の信頼性確保対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物用医薬品国際基準等対策事業 承認審査資料に関する日・米・欧の三極による国際基準及び試験法ガイドラインの作成のための情報収集・分析、調査・試験の実施と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び承認審査の促進に資することを目的とする。 ・動物用医薬品の承認申請資料作成のためのガイドライン作成事業 動物用生物学的製剤申請書等における製造方法欄の記載に関するランモックアップ案を作成することを目的とする。 <p>○食料安全保障確立対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物用ワクチン等保管事業 動物用ワクチン等の需要が急増する緊急時に備え、国が指定する動物用ワクチン等の保管を目的とする。
(2) 具体的な内容	<p>○食品の安全・消費者の信頼性確保対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物用医薬品国際基準等対策事業 国内検討体制として大学等の学識経験者他の専門家により「動物用医薬品承認基準国際化対応研究委員会」を組織し、国際協議の対象となるトピックについて効果的、効率的に検討し、各作業部会への専門家の派遣、必要な国内外の規制情報等の翻訳と提供を行った。 ・動物用医薬品の承認申請資料作成のためのガイドライン作成事業 動物用生物学的製剤のうちウイルスを成分とする生、不活化ワクチン申請書における製造方法欄の記載に関してモックアップを作成した。 <p>○食料安全保障確立対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物用ワクチン等保管事業 豚流行性下痢 (PED) 等の動物用ワクチン等の需要が急増する緊急時に備え、製造メーカーが平常時に販売が見込まれる数量以上の一定量のワクチン等の保管を行った。